



Atsuko Tanaka
—田中敦子—

素天蓮州

STAINLESS STEEL BAR & WIRE

NABEKURA

鋼倉金属工業株式会社 和田山工場

〒669-5252 兵庫県朝来郡和田山町筒江字中山165番地7

TEL 0796 (74) 2011 (代) FAX 0796 (74) 0150

OSAKA・TOKYO





プロフィール

しょうふくてい かくしょう
 本名：金田久和(山東町出身)
 1961年5月2日生まれ。24歳の時、六代目笑福亭松鶴に弟子入り。1990年「MBS新人落語コンクール」優勝、1993年「ABCお笑い新人グランプリ」優秀新人賞受賞。海外公演にも意欲を燃やし、毎年世界各国でパフォーマンスをしたり、コメディハウスにも出演したりと国際派。1997年にはアメリカオクラホマ州立大学で開かれた国際お笑い学会に招待され、古典落語を熱演し絶賛を浴びる。1998年7月にヨーロッパのハンガリー国際人形劇フェスティバルへ日本代表として招待され、パペット落語を公演し大成功をおさめた。

お笑いの世界でがんばるんやと但馬を出てから、もう20年になりますが、ふるさとの事は一度も忘れたことはありません。

逆にふるさとのあることを誇りに思っております。お笑いの世界で最大のプロダクションである吉本興業でやっているのも、但馬で育ったねばり強さと根性のおかげだとつくづく思っております。子供の頃、家から30分以上もかけて、雨の日も雪の日も毎日歩いて通った小学校のつらかった思い出や、近所の山という山はすべて登って遊んだ楽しい思い出とか、都会の子供たちには味わえない宝物が、いっぱいいます。頭につまっています。

自然の良さとか怖さとかを身体で教えてくれた但馬を、今では本当にありがたいと思います。この文章を書きながらも、帰りたくなってきました。たまに家に帰っても、家にはおらずに、裏山に登って一人で

遊んでいます。山が木が緑が、大阪のコンクリートジャングルで戦うパワーを与えてくれるのです。

吉本興業の芸人さんたちも、遊びで仕事でよく但馬に行くみたいです。僕の顔を見たら、鶴笑の間但馬行って来たぞ、ええとこやなあとか、和田山竹田家具のカンバン見てきたぞとか、楽しそうにしゃべってくれるのが、僕はとてもうれしいです。但馬って奥が深いと思います。おいしい物はいっぱいあって、美しい風景もあるし、良い物もいっぱい作られているし、もともと日本中の人が但馬のことを知ってくれたらいいなあと思います。

私は仕事柄、人前じゃしゃべることが多いので、微力ながら但馬の宣伝マンとなり、がんばっております。さあ、皆さんもこの情報誌をすみからすみまで読んで、気に入った場所へ出かけて、もう一度但馬の良さを確認してみてください。